

哲学委員会哲学・倫理・宗教教育分科会（第25期・第8回）
議事要旨

日時：令和4年4月16日（土）16：00～18：30

会場：オンライン（Zoomミーティング）

出席者：中村征樹（委員長）、垣内景子（副委員長）、一ノ瀬正樹、上原麻有子、
香川知晶、川橋範子、木村勝彦、木村敏明、河野哲也、小島優子、下田
正弘、直江清隆、永崎研宣、野家啓一、藤原聖子、八尾史、八木久美子、
奥田太郎（幹事）

審議事項

1. 前回議事録の確認

前回議事録が確認された。

2. シンポジウムの企画について

今後、本分科会として具体的にどのような活動を展開していくのかについて、
まず話し合われた。

そこで、道徳科の教科書記述に見られる要検討のテーマとして、テクノロジー、
ジェンダー、多文化共生、戦争が挙げられたため、Zoomミーティングの「ブ
レイクアウトルーム」機能を利用して4つの小グループに分かれ、それぞれのテ
ーマでの企画について検討を行い、その後、もう一度全体で議論を重ねた。その
結果、「考え、議論する道徳」教育に対して哲学・思想的な知的リソースがどの
ように貢献できるか、を基本軸とし、4つのテーマ（テクノロジー、ジェンダー、
多文化共生、戦争）を切り口に、道徳科の教科書の内容を具体的に検討する研究
会を定期開催していくことが了承された。その際、ゲストスピーカーとして、道
徳教育を実際に担当している教員、および、テーマに関連する日本学術会議の他
の分科会（候補：情報学委員会情報学教育分科会、社会学委員会ジェンダー研究
分科会、地域研究委員会多文化共生分科会など）の委員を招き、本分科会の委員
とともに、話題提供をしてもらうこと、さらに、一連の研究会の成果物として、
各テーマで道徳教育を行う際の Tips を簡潔に記したリーフレットを作成する
（できれば、全国の教育現場に配布し、コメント等のフィードバックを得る）こ
とも提案された。

そこでまず次回の分科会では、テクノロジーをテーマとした研究会を開催す
ることとなった。

3. 今後の予定について

次回は6月頃に開催することが確認された。